



かたらしで

アーチ通信 第15号

令和元年7月発行

「かたらしで」は三島の方言で
「なかまにいて」 という意味です。



三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える
“つながり” 作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

★相談支援事業所以外にも気軽に相談できる相談会があります！★～その1～ ＜ 知的障がい者相談会 ＞

いつ： 毎月第3木曜日の10時～15時まで

どこで： 三島市社会福祉会館 第二会議室

内容： 三島市から委託を受けた知的障がい者相談員2名（知的障がいのある子どもの親）
が交代で、お話をおきします。（ピアカウンセリング）。
お子さんの発達のことや生活していく上での悩み、親亡き後の心配など、同じ悩み
を持つ親の立場でお話をきいたり、関係機関につなげたりしています。



＜相談例＞

- 幼稚園に入園を控え、発達の遅れがあるので、お友達と一緒に活動ができるのか心配。
- 配偶者や祖父母の理解がない。
- 親亡き後のことが心配。住まいはどうしたらいい？
- ショートステイを利用したいが、利用の仕方がわからない。どのように過ごしているの？
- 子どもに早期に療育を受けさせたい。どこかあるか？
- 希望の仕事がしたい。（本人）
- 別々に住む兄弟（成人・一人暮らし）のことが心配。
- サービスや制度のことがわからない。専門家の
ところに相談に行く前に知っておきたい。

など。

秘密は厳守します。

お気軽に話に来てください。



サポーター紹介！

所属 伊豆医療福祉センター
相談支援事業所
サポートセンターみらいす

氏名 田中香織

資格 社会福祉士

趣味 : アシュタンガヨガを続けています。いつかインドへ…。
好きなこと : おいしいものを食べる事
悩み : いくら寝ても早起きができないこと。
一言 : 三島市から少し離れた伊豆の国市に事業所がありますが、何かあれば駆け付けます。これからもよろしくお願いします。



山梨県にて。猿橋を渡る



自慢の祖母です、良い笑顔



タイ料理のお店によく行きます



草薙マルシェ



運営会議のほうこく！

日時：令和元年5月27日（木）15：30～17：00 場所：三島市役所 西館 会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

①相談＆サビ管の連携プロジェクト

「第2回相談支援専門員＆サービス管理責任者等連携プロジェクト」の開催について協議しました。

開催日は、6月20日(共通理解・共有編)、7月8日(フォローアップ編)の計2回を1セットとし、三島市内の事業所に開催案内を配信済みです。

②人材育成プロジェクト

講師リスト「TABUNリスト」の運用・活用について協議しました。

リストを活用した研修（通称：アチ研）の浸透、活用の促進を目指した検討を進めています。

③三島再発見プロジェクト

「かたらして」の発行に伴い、6～8月号の企画を検討しました。また、障がい福祉課に「かたらして」を置いていただき、インターネットが利用できない方のニーズにも応えられるようにします。

ネットワークミーティング(全体会)の企画について

①開催日時： 9/26(木) 受付 13：30 開会 14：00

②開催場所： 静岡県総合健康センター 第2研修室

③内容(案)： 「成功体験の交換をしよう！」を目的に、日常生活で出会う多くの出来事の内、うれしい情報・ほっこり情報を共感しあえる場づくりをめざし、次回以降の運営会議で詳細検討を行うこととなりました。





“自立生活援助” って どのようなサービス？

地域生活を支援する新たなサービス（自立生活援助）の創設

【厚生労働省資料をもとに作成しています】

障害者が安心して地域で生活することができるよう、グループホーム等地域生活を支援する仕組みの見直しが求められているが、
集団生活ではなく賃貸住宅等における一人暮らしを希望する障害者の中には、知的障害や精神障害により理解力や生活力等が
十分ではないために一人暮らしを選択できない人がある。

このため、障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する知的障害者や精神障害者などについて、
本人の意思を尊重した地域社会を支援するため、一定の期間にわたり定期的な巡回訪問や随時対応により、障害者の理解力・
生活力等を補う観点から、適時のタイミングで適切な支援を行うサービスを新たに創設された。

対象者

- 障害者支援施設やグループホーム等を利用していた障害者で
一人暮らしを希望する者
- 一人暮らしをされている方
- 家族に課題のある方

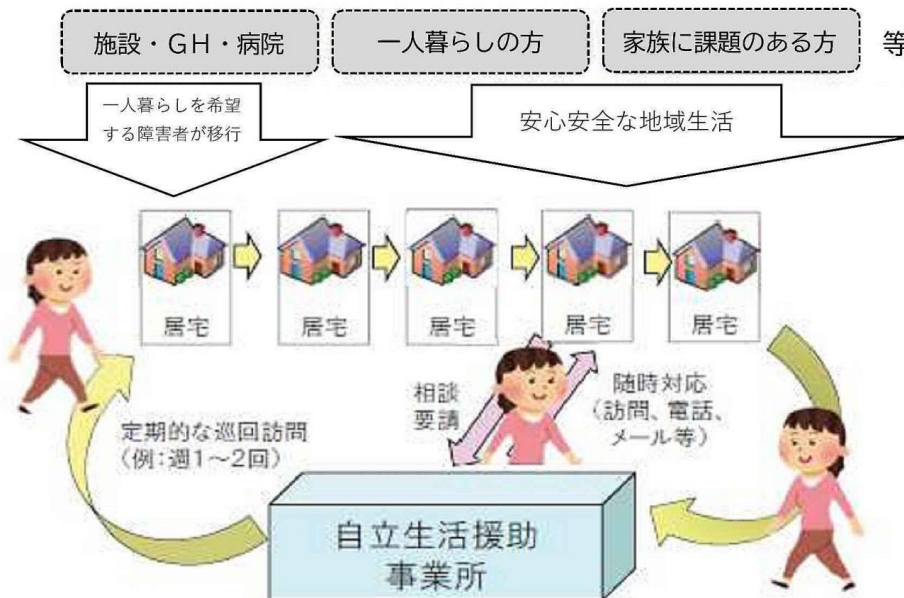
支援内容

定期的に利用者の居宅を訪問して

- ・ 食事、選択、掃除などに課題はないか
- ・ 公共料金や家賃に滞納はないか
- ・ 体調に変化はないか、通院しているか
- ・ 地域住民との関係は良好か

等について確認を行い、必要な助言や医療機関との
連絡調整を行う。

定期的な訪問だけでなく、利用者からの相談・要請が
あった際は、訪問、電話、メール等による随時の対応
も行う。



*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。

三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園 相談支援事業所ふあいん

055-976-8386

sole-fine@shirt.ocn.ne.jp